

2017年11月20日

関係各位

野村證券株式会社

## 「Russell/Nomura日本株インデックス」の年次銘柄入替について

### **Russell/Nomura Total Marketインデックスは除外37銘柄、組入れ151銘柄**

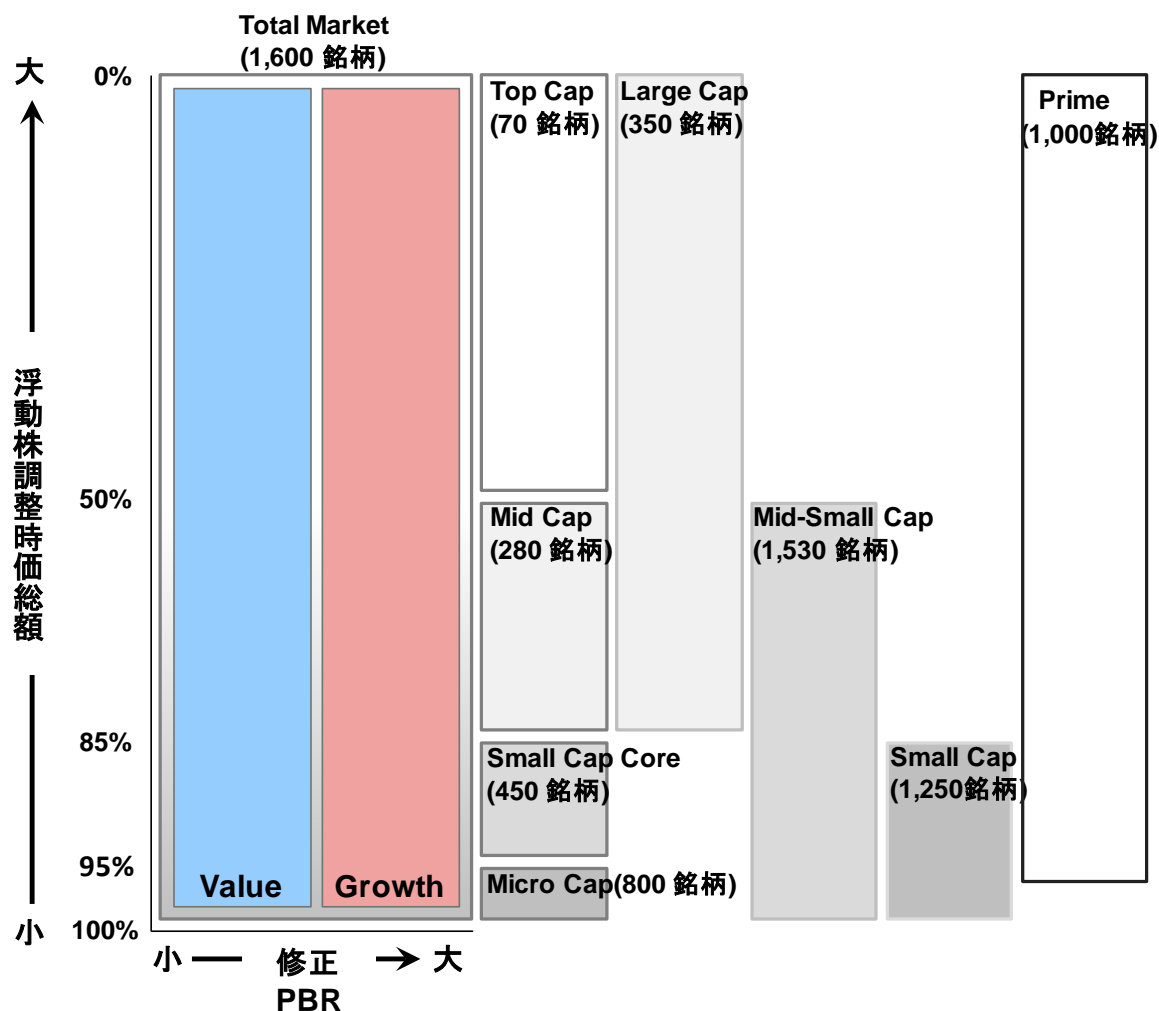
野村證券とFTSE Russell Indexesはこのたび、Russell/Nomura日本株インデックス・シリーズの定期（年次）銘柄入替を行いました。全上場銘柄の時価総額（浮動株調整済み）の98%をカバーするRussell/Nomura Total Marketインデックスの構成銘柄数は1,600銘柄となりました。構成銘柄の詳細は、野村證券金融工学研究センターのウェブサイト(<http://qr.nomura.co.jp/jp/index.html>)をご覧ください。

今回の入替でRussell/Nomura Total Marketインデックスは37銘柄が除外、151銘柄が組入れられ、入替後の構成銘柄数は1,600銘柄、時価総額は約430兆円となりました（2017年10月13日時点、時価総額は浮動株調整済み）。

スタイル別インデックスは、Russell/Nomura Large Capインデックスの定期入替後構成銘柄数が350銘柄で、今回の定期入替による構成銘柄数の増減はありません。Large CapインデックスのサブインデックスであるTop Cap、Mid Capの構成銘柄数にもそれぞれ増減がありませんでした。一方、Russell/Nomura Total Marketインデックスの時価総額の下位15%で構成されるSmall Capインデックスの構成銘柄は1,250銘柄になりました（図表1）。

バリュー、グロースインデックスは、Total Valueインデックスで95銘柄が除外、134銘柄を組入れ、Total Growthインデックスでは87銘柄を除外、210銘柄が組入れられました。回転率（片側）はTotal ValueインデックスとTotal Growthインデックスのどちらも10%未満（図表2）と低水準に抑えられています。業種別ではバリューウエート、グロースウエートの変化幅が2%を超えた業種はなく、前年の定期入替よりもバリュー・グロースの比重の変化は相対的に小さかったと言えます。その中で、大型株では「電気機器」、「化学」、「機械」セクターにおいてグロースウエートが1%超増加し、「陸運業」と「小売業」でバリューウエートの増加が見られました（図表3）。しかしながら、小型株では「陸運業」セクターでグロースウエートが増加するなど、大型株とは傾向が異なりました。

図表1 Russell/Nomura日本株インデックスの体系



注: 銘柄数は2017年11月20日定期入替後。

図表2 2017年11月定期入替サマリー

	採用銘柄数					時価構成比率			回転率 (片側)
	入替前	入替後	差	OUT	IN	入替前	入替後	差	
Total	1,486	1,600	114	37	151	100.00%	100.00%	-	1.6%
Value	1,093	1,132	39	95	134	49.92%	49.30%	-0.62%	9.1%
Growth	796	919	123	87	210	50.08%	50.70%	0.62%	9.8%
Large	350	350	0	17	17	84.63%	84.41%	-0.21%	2.1%
Value	220	223	3	20	23	39.95%	40.17%	0.22%	9.2%
Growth	243	240	-3	28	25	44.68%	44.24%	-0.44%	9.6%
Small	1,136	1,250	114	54	168	15.37%	15.59%	0.21%	9.8%
Value	873	909	36	90	126	9.97%	9.13%	-0.84%	15.8%
Growth	553	679	126	83	209	5.40%	6.46%	1.05%	27.2%
Prime	991	1,000	9	29	38	97.38%	97.09%	-0.30%	1.5%
Value	726	704	-22	71	49	48.27%	47.58%	-0.69%	9.1%
Growth	559	604	45	52	97	49.11%	49.51%	0.39%	9.5%

注: 採用銘柄は定期入替日時点。時価構成比率の計算は2017年10月13日の株価による。  
 回転率(片側)は  $\sum | \text{入替前時価比率} - \text{入替後時価比率} | / 2$  より算出。

図表3 Russell/Nomuraスタイル指数の業種別時価総額ウェイトの増減

	Total Value	Total Growth	Large Value	Large Growth	Small Value	Small Growth
水産・農林業	0.0%	0.0%	-	-	0.1%	-0.4%
鉱業	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-
建設業	-0.5%	0.5%	-0.4%	0.6%	-0.2%	-0.8%
食料品	0.3%	-0.3%	0.1%	-0.2%	1.0%	-1.1%
繊維製品	0.3%	-0.3%	0.4%	-0.3%	0.0%	0.2%
パルプ・紙	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.1%	0.0%
化学	-1.3%	1.2%	-1.4%	1.4%	-0.7%	0.1%
医薬品	0.7%	-0.9%	0.7%	-0.8%	0.8%	-0.9%
石油・石炭製品	0.2%	-0.1%	0.2%	-0.1%	0.1%	-
ゴム製品	-0.3%	0.3%	-0.3%	0.4%	-0.3%	-0.2%
ガラス・土石製品	-0.1%	0.1%	0.0%	-0.1%	-0.7%	1.2%
鉄鋼	0.1%	-	0.0%	-	0.3%	-
非鉄金属	-0.3%	0.3%	-0.1%	0.3%	-1.1%	0.1%
金属製品	-0.1%	0.1%	-0.1%	0.1%	0.1%	0.3%
機械	-1.0%	1.0%	-0.9%	1.2%	-1.2%	-0.3%
電気機器	-1.1%	1.1%	-1.2%	1.7%	-0.4%	-0.7%
輸送用機器	0.0%	-0.3%	-0.3%	-0.3%	0.5%	0.0%
精密機器	0.0%	0.0%	0.0%	-0.1%	-0.1%	0.5%
その他製品	0.0%	-0.1%	0.1%	0.0%	-0.1%	-0.2%
電気・ガス業	0.1%	-0.1%	0.1%	-	0.0%	0.0%
陸運業	0.9%	-0.9%	1.1%	-1.1%	0.1%	1.1%
海運業	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-
空運業	-0.1%	0.1%	-0.2%	0.1%	-	-
倉庫・運輸関連業	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.1%	0.0%
情報・通信業	0.6%	-0.8%	0.7%	-1.0%	0.1%	0.8%
卸売業	0.1%	0.0%	0.0%	-0.1%	0.7%	0.1%
小売業	0.8%	-0.8%	1.0%	-1.3%	0.1%	0.6%
銀行業	0.1%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	0.7%	-
証券、商品先物取引業	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.1%	-0.1%
保険業	0.0%	0.0%	-0.1%	-	0.0%	0.0%
その他金融業	-0.1%	0.0%	-0.1%	-0.1%	0.0%	0.8%
不動産業	0.3%	-0.2%	0.2%	-0.2%	0.4%	-0.1%
サービス業	0.4%	0.2%	0.7%	0.2%	-0.6%	-1.0%

注: 2017年10月13日の株価による。青のシャドウは Valueインデックスのウェイトが1%以上増加した業種、赤のシャドウはGrowthインデックスのウェイトが1%以上増加した業種を表す。

### Russell/Nomura Primeインデックスは除外銘柄数が29銘柄、組入銘柄数が38銘柄

Russell/Nomura Primeインデックスは、機関投資家によるパッシブ運用のベンチマークとして開発されたインデックスであり、Russell/Nomura Total Marketインデックスの時価総額上位1,000銘柄で構成されるサブインデックスです。2017年定期入替で29銘柄が除外され、38銘柄が組み入れられました。定期入替後のPrimeインデックスの時価総額は約418兆円となりました(2017年10月13日時点。時価総額は浮動株調整済み)。また、回転率(片側)は1.5%で、継続して低く抑えられています。

今回の定期入替で、Russell/Nomura Primeインデックスに初めて採用された銘柄は20銘柄です。この中に、2017年に新規上場した銘柄が2銘柄含まれていました。また、この20銘柄のうち19銘柄がPrime Growthインデックスの構成銘柄でした。

### **Russell/Nomura 日本株インデックスについて**

1995年、野村証券とFTSE Russell Indexes は、様々な投資方針に基づいた運用を測定するツールとして「Russell/Nomura日本株インデックス」を共同開発しました。当インデックスは、日本市場の上場株式を対象にした浮動株時価総額加重方式の株価指数です。浮動株調整時価総額上位98%の銘柄で構成されるRussell/Nomura Total Marketインデックスをはじめ、投資スタイル別のサブインデックスが公表されています。当インデックスでは、株式市場の変化を反映させるため、年一回、構成銘柄の定期銘柄入替を実施しています(2017年は11月20日(11月17日引け後)に定期銘柄入替を実施)。構成銘柄は10月15日時点(休日の場合は直近営業日)の浮動株調整時価総額によって決定されます。

定期銘柄入替後に合併・買収やその他の事由によって銘柄が除外される場合、次回の定期銘柄入替まで補充されることはなく、構成銘柄数は減少します。ただし、新規上場したLarge Cap相当の銘柄は臨時入替で組入れられます。

<お問い合わせ先>

野村証券株式会社 金融工学研究センター  
インデックス業務室  
TEL: 03-6703-3986  
E-mail: idx\_mgr@jp.nomura.com